

59 イソシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク:C

Actitis hypoleucos

繁殖個体群:C 越冬個体群:- 通過個体群:調

環境省ランク:指定なし

種の概要

北海道では夏鳥、本州北部では夏鳥または留鳥、本州中・南西部、四国、九州では留鳥または旅鳥、沖縄では留鳥または冬鳥。兵庫県では周年見られる。河川敷、河口、湖沼、湿地、水田、海岸などに広く生息する。水辺で昆虫類やミズズミ、貝類、エビ類、カニ類などを採食する。河川敷や池沼の草むらで繁殖する。



写真提供:但馬野鳥の会

国内分布

北海道、南千島、本州北部、本州中・南西部、粟島、佐渡、隠岐、見島、四国、九州、対馬、五島列島、男女群島、屋久島、種子島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、洲本市、芦屋市、伊丹市、豊岡市、加古川市、赤穂市、(西脇市)、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、朝来市、淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、猪名川町、稲美町、(福崎町)、(神河町)、(太子町)、香美町、(新温泉町)
※県内繁殖有



主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。
大多数は旅鳥として春秋の渡りの時期に見られるが、少数は繁殖および越冬している。公表されている繁殖地は武庫川のみだが、多くの主要河川では繁殖の可能性はある。

保護上の留意点

繁殖地の保全が重要。現在繁殖期に生息が確認されている場所では、繁殖期に人の立ち入りを制限するなどの工夫が必要。